

No.167
2019
2/25



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



八
地
申
15
号

「平成31年3月ダイヤ改正等について」[基本]申し入れ交渉開催！

我々は機械ではない！人間労働の否定は認められない！

2月22日 全項目終了！ その・2

4. 睡眠・食事を目的とした乗務の中断が不十分な行路が作成されているため、乗務員勤務制度の主旨に則り改善すること。

- (組合) 食事を目的とした乗務の中断時間が35分に満たないものもあるが、どのように考えているのか。
- (会社) 乗務員勤務制度にエラーなく作れている。制度上、非番は35分以下で構わないが、少ないことは認識している。
- (組合) 食事は、食事を取るだけでなく、移動が伴うことになる。移動時間も含めて、食事が出る時間を確保するべきである。
- (会社) 1分でも多く取れるよう、必要な配慮はしてきた。これからも欠かさず配慮していく。
- (組合) 睡眠を目的とした乗務の中断時間は、着発6時間あっても4時間30分の睡眠時間が確保出来ないものばかりである。ルール内であれば良いという考えでは認められない。
- (会社) 乗務員勤務制度の主旨に則り、可能な限り配慮していく。

現実を受け止め、
配慮していくことを確認！

5. 職場の声に基づき仕事と育児・介護を両立できる体制を構築すること。

- (組合) 短時間行路の作成にあたっては、昼の時間が基本であるがどのように考えているのか。
- (会社) こどもの送り迎えなどが出来る10~16時の時間を基本とし、趣旨は、今後も変わらない。
- (組合) 家族の協力があっても全員ではない。昼の時間を増やすべきだ。
- (会社) 朝・夕も乗れる人には、乗ってもらい、全体的にシェアして欲しい。
- (組合) 短時間を取得する人が心置きなく休みが取れる体制を構築すること。現在は、休日出勤で賄っている。
- (会社) 休勤も含めて職場が回るようにしていく。主張を受け止め出来ることはやっていく。

基本は、10~16時の設定を確認！

しかし

休勤で回る体制など認められない！

6. 乗務労働の特殊性と休憩の重要性を考慮し、職場の声に基づいて詰所等、働きやすい環境を整備すること。

- (組合) この一年間で西船橋駅以外の改善した箇所を示すこと。
- (会社) 塩山の乗泊。甲府電留線の女性設備、武蔵小金井派出の浴室、川越駅喫煙スペースが改善された。
- (組合) 立川駅ホーム詰所について、これまで議論してきているが、改善は出来ないのか。
- (会社) お金とスペースの問題があり、すぐには出来ない。
- (組合) 効率性だけが追求されては安全性が低下する。乗務に備えられる詰所の環境を創るべきである。
- (会社) 理想の詰所というのではないが、休める環境づくり、メリハリをつける場所を区所毎に最良な場所の整備をしていきたい。

継続した詰所の
整備を確認！

7. 乗務員勤務制度の見直しが今ダイヤ改正から反映するため、ダイヤ改正実施後、労使で検証を行うこと。 また、問題が発生した場合は、労使で議論し、直ちに改善を図ること。

- (組合) 今ダイヤ改正は、乗務員勤務制度の見直し後のダイヤ改正となる。労使で検証の場を設けることを要請する。
- (会社) 会社として、各部署において検証をしていく。
- (組合) 改めて、これまで労使慣行として行ってきた勉強会などを要請する。
- (会社) 今年のようなやり方がどうであったのかは、振り返りをしていく。貴側から提起があった際は、今まで通り議論していくことに変わりはない。

各職場から要求貫徹に向けて職場からたたかいを創り出そう！